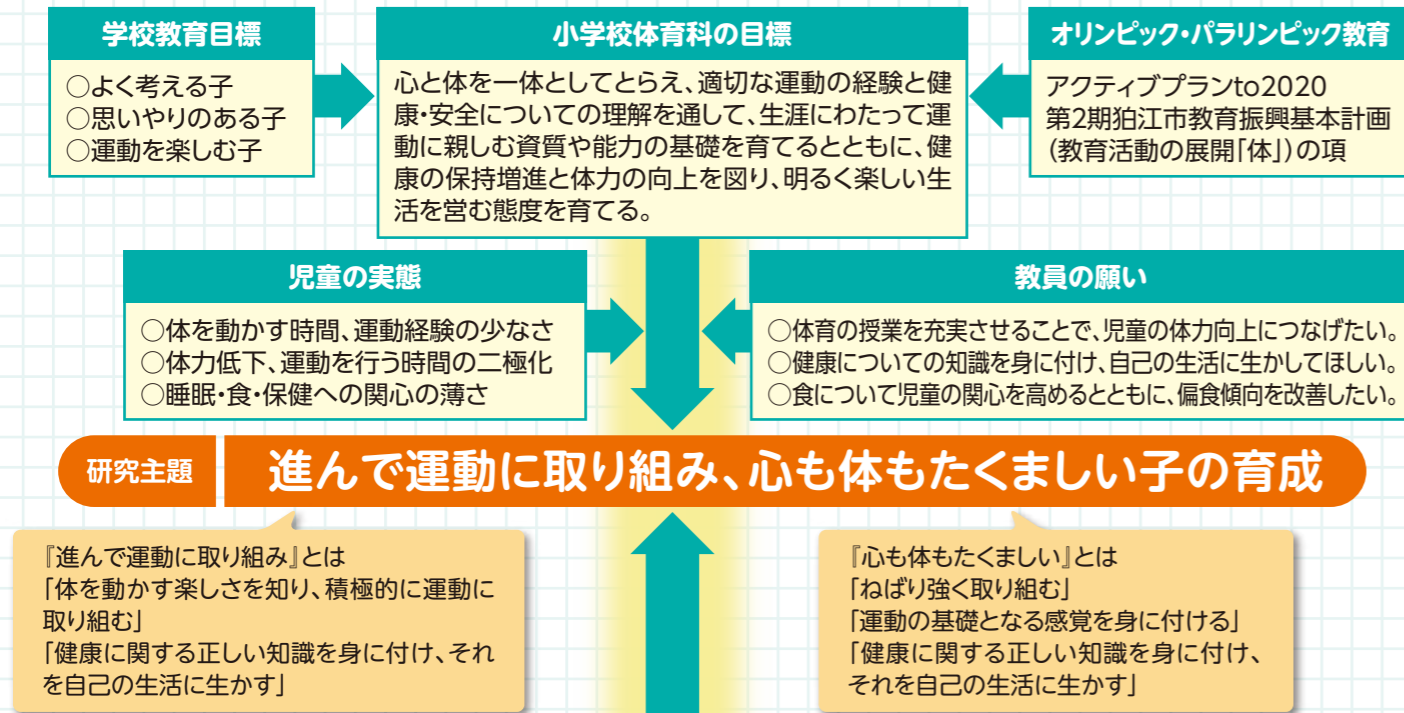


研究の概要

◆本校の健康教育における研究構想図



研究仮説1

- 児童が夢中になれる運動の内容を工夫していけば、児童は進んで運動に取り組み、心も体もたくましく育つだろう。

研究仮説1における「運動部会」の手立て

◎ 目指す児童像

「運動の基本的な技能を身に付け、進んで運動に取り組む子」

● 授業の取り組み

- ・体育指導の授業モデル作成
- ・ICTを効果的に活用した授業
- ・アスリート等を活用した専門的な指導 等

● 授業以外の取り組み

- ・教員の充実、環境整備
- ・体育的行事の工夫、改善
- ・地域・家庭との連携
- ・体育実技研修会の実施
- ・授業時間外の運動時間の設定 等



研究仮説2

- 健康に関する正しい知識が身に付く学習内容の工夫をするとともに、日常から健康に興味をもつような環境整備を行えば、児童は進んで運動に取り組み、心も体もたくましく育つだろう。

研究仮説2における「保健部会」の手立て

◎ 目指す児童像

「健康の大切さを認識し、自ら進んで行動できる子」

● 授業の取り組み

- ・保健学習と関連させた学級活動と総合的な学習の時間 等

● 授業以外の取り組み

- ・全校児童アンケート、保護者アンケートの実施
- ・地域、家庭との連携 等



研究仮説2における「食育部会」の手立て

◎ 目指す児童像

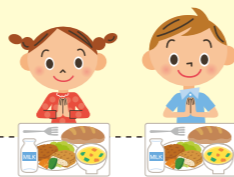
「食に興味・関心をもって食事を楽しみ、学んだことを進んで生かす子」

● 授業の取り組み

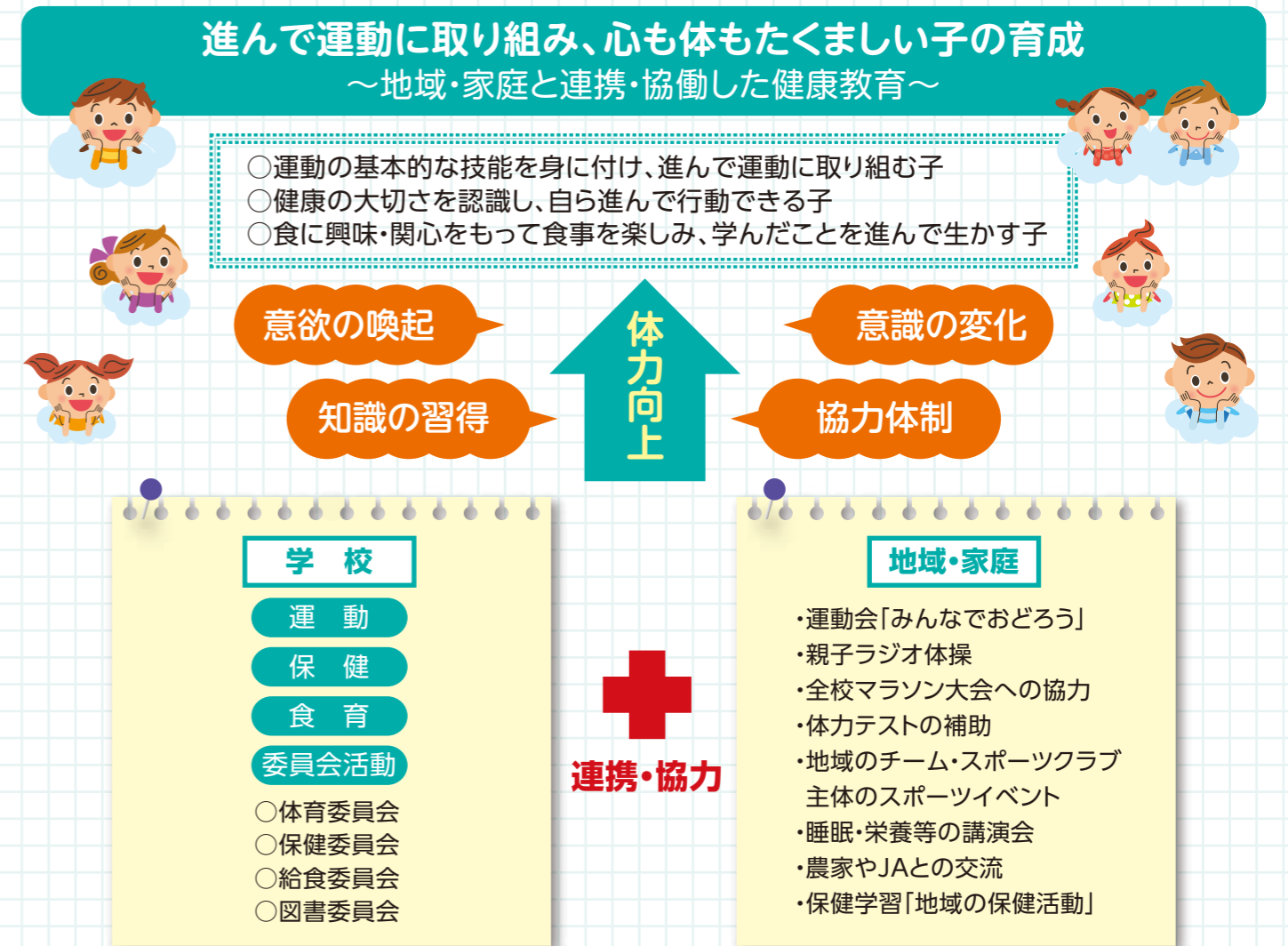
- ・栄養士と連携した授業
- ・地域農家と連携した体験活動や授業 等

● 授業以外の取り組み

- ・委員会活動の工夫
- ・5分間食育指導
- ・食育と他教科との関連を図った年間指導計画
- ・児童会活動の工夫(給食・図書)
- ・保護者への啓発活動(給食だより講演等) 等



◆地域・家庭との連携、協働を図るための構想図



◆取り組みの継続と実績

